



児童からちぎり絵をプレゼントされたシンドルフさん

## 石の彫刻をとおして芸術を学ぼう ロバートシンドルフさん上小で講演

このたび、公園整備が進められている旧役場庁舎跡に、石の大型彫刻が設置されました。これは、昨年の十月に米国の彫刻家ロバート・シンドルフさんが、西播磨国際彫刻シンポジウムで作成されたもので、役場前に仮設置されていたものです。移設のために来日され、二月十七・十八日に無事移設されました。あわせて、石彫に表現される上郡の豊かな自然を感じ、芸術性を深めてもらおうと、地元の上郡小学校五年生を前に、



受賞おめでとうございます

また、堀井一樹くん（上郡小学校二年）と松原也恵美さん（梨ヶ原小学校二年）が上郡農林事務所長賞を受賞し、それぞれ小学校で伝達を受けました。

六千五百点もの応募があるもので、山元さんの作文は「おこめづくりは、たいへんだったよ」と題し、田植えの新鮮な感じや実りへの感謝が素直な言葉で綴られており、上位六点に選ばれました。

また、堀井一樹くん（上郡小学校二年）と松原也恵美さん（梨ヶ原小学校二年）が上郡農林事務所長賞を受賞し、それぞれ小学校で伝達を受けました。



整備中の公園に移設された彫刻（「風の門」ウインドウゲート）



ドロの感触を楽しんだ田植え体験

講演会が開かれました。講演では、ロバートさんの自己紹介の後、スライドで海外や国内に設置されている作品が紹介されました。作品の意図を子どもたちに質問し、「大地と地平線」「天国に上る階段」など、感性豊かな答えが返っていました。



岡本さんには、パソコンとデジタルカメラが贈られました。



築山さんにはデジタルビデオカメラが贈られました。

新春のお楽しみ、年賀葉書お年玉の抽選に、このたび、お二人が見事一等賞に当選されました。お一人は、築山剛さん（赤松）で、当たった葉書は使い残っていたうちの一枚。「残りものに福があった」と、二月二日（火）、上郡郵便局で賞品のデジタルビデオカメラを贈呈されました。

もう一人は、岡本イツコさん（金出地）で、同じく余った葉書が当たりました。別の便りを出そうとしたとき、番号が目にとまったとのこと。三月一日（月）上郡郵便局でパソコンとデジタルカメラを贈呈されました。一等賞のあたる確率は約五十分の一。町内では約六十四万通配達されますが、昨年引き続き二人も当選されました。二年続けての高い的中率です。果たして来年は誰の手に…。

### 4月から上郡郵便局の外務サービスが変わります！ ～総合担務制の実施～

上郡郵便局では、今年の4月1日から郵便・貯金・保険のサービスを一人の外務職員が取り扱う（総合担務制）こととなります。これまで、郵便配達は郵便担当者が、貯金・保険はセールスマンが担当していましたが、これからは、担当地域で郵便・貯金・保険の3事業を1人で取り扱い、いままで以上にお客さまサービスに努めます。これからも引き続き地域の皆さまに愛され、親しまれる郵便局として努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。